



中节能翼和

2025 SDGs 報告書

中節能（湖北）環境保護産業エクイティ投資ファンド

目次

当ファンドについて 01

ファンド概要	01
持続可能な投資	02
2025 年の SDGs 目標に対する成果	05

SDGs 目標への主要な取り組みと成果 11

SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」への貢献	11
SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」への貢献	15
SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」への貢献	21
SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」への貢献	26
SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」への貢献	30
SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」への貢献	33

2025 年度 投資支援先概要 37

投資支援先 1: 江蘇天奈テクノロジー	37
投資支援先 2: 深圳清溢光電	38
投資支援先 3: 上能電気	39
投資支援先 4: 国家能源集団長源電力	40
投資支援先 5: 岳陽興長石化	41
投資支援先 6: 四川英發睿能テクノロジー	42
投資支援先 7: 湖南雅城ニューエナジー	43
投資支援先 8: 武漢中儀 IoT テクノロジー	44
投資支援先 9: 3R 環境テクノロジー	45

略称一覧 46

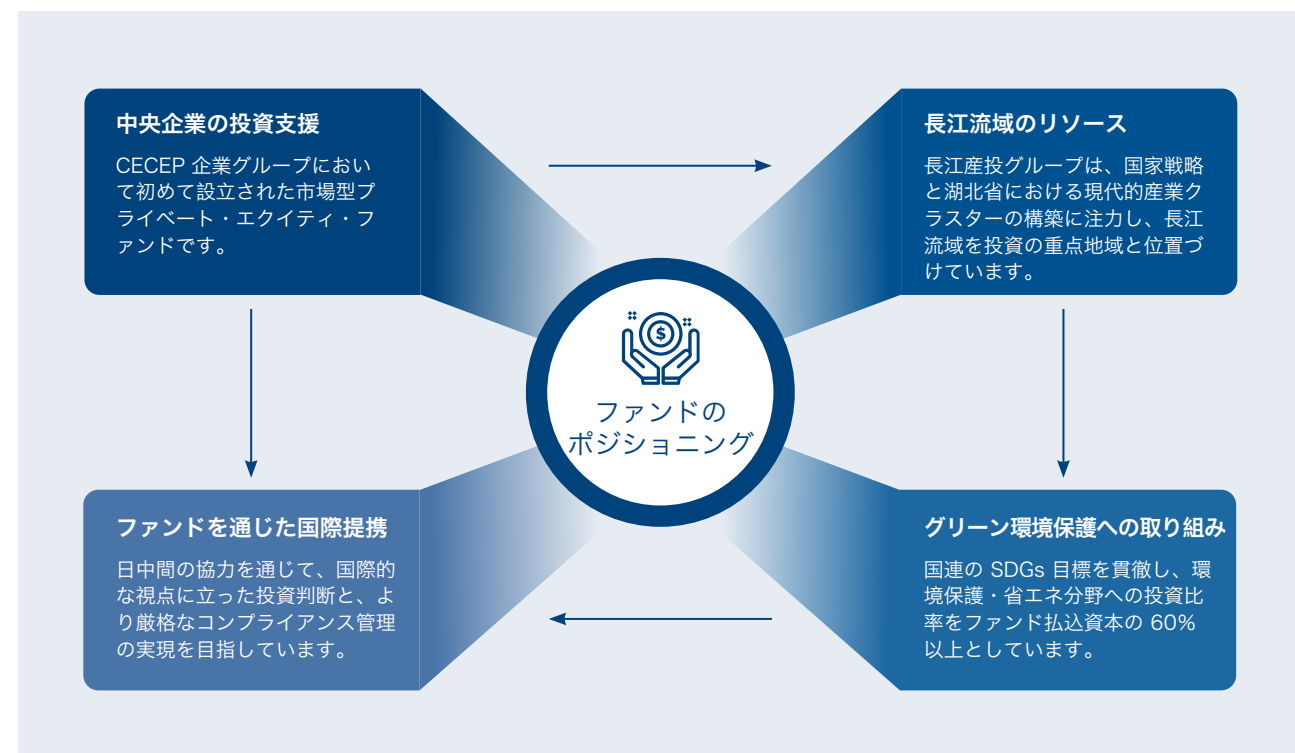
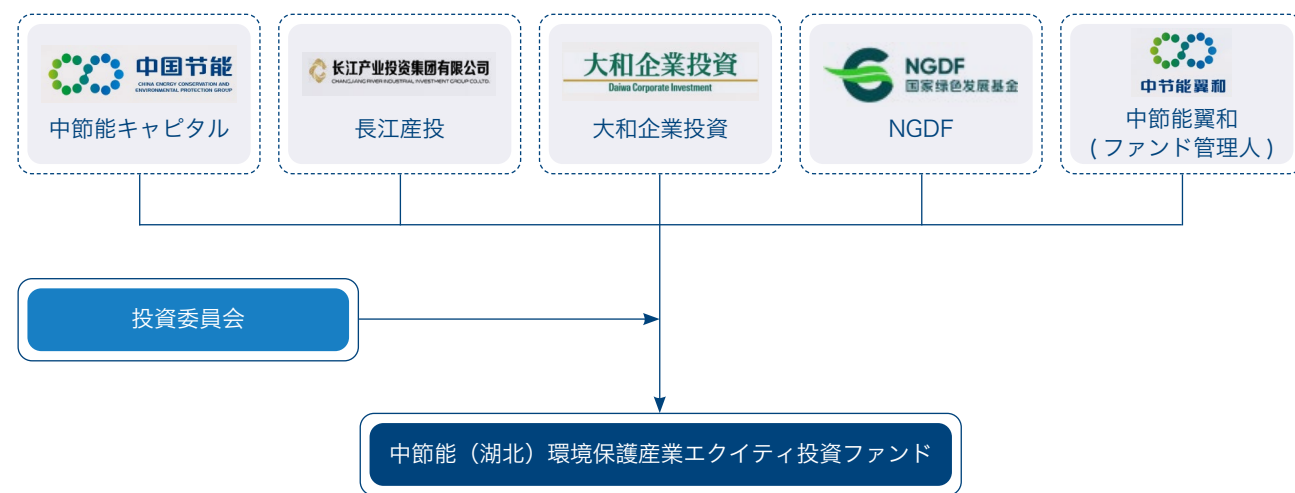
免責事項（本レポートについて） 47

当ファンドについて

会社概要

中節能（湖北）環境保護産業エクイティ投資ファンド（以下「当ファンド」という）は、2020 年 10 月 26 日に湖北省武漢市で設立され、中節能翼和、中節能キャピタル、大和企業投資、長江産業投資及び NGDF が共同で出資しています。2025 年 12 月時点での払込資本金は 5 億元です。

ファンドの仕組み



組織・ネットワークへの参画

中節能翼和は、業界交流を継続的に深化させ、国内外の協力ネットワークを積極的に拡大しています。地域の協調発展を促進するため、同社は湖北省ベンチャーキャピタル協会に加入し、業界交流、政策検討及びプロジェクト協力に積極的に参加するとともに地域に根ざした健全なエコシステム構築に貢献しています。

受賞表彰

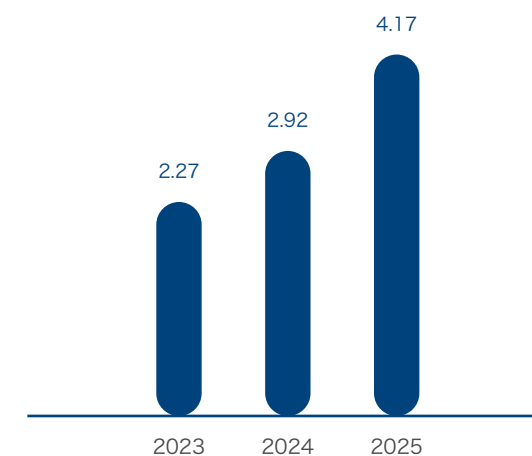
中節能翼和は国際連合の持続可能な開発目標を戦略的指針とし、持続可能な開発分野への投資配置を継続的に強化するとともに、グリーン化の推進と質の高い成長の実現に取り組んでいます。同社は、産業金融および投資イノベーション領域での優れた実績が評価され、第 9 回・湖北ベンチャーキャピタル業界表彰において「湖北ベスト産業金融融合イノベーション賞」および「湖北新鋭投資機関賞」を受賞しました。また、長江産投から「最優秀中央・地方連携投資ファンド賞」を受賞しています。これらの受賞は、産業発展への貢献、資本運営力ならびにサステナブル投資分野における同社の総合力と業界内での高い評価を示すものです。

持続可能な投資

精緻な投資判断に基づく運用を特色とし、金融機関としての専門性と強みを的確に発揮しています。資本を環境に配慮した有望な分野への的確に振り向け、グリーン産業の発展を後押ししています。さらに、グリーン金融の新たな可能性を追求し、多方面との連携を通じて、持続可能で質の高い成長を力強く牽引しています。

2025 年末までに、当ファンドの累計投資規模は 4 億 1,706 万元に達し、前年比で 42.80% 増加しました。報告期間中、投資先である天奈テクノロジー、清溢光電、上能電気、長源電力、岳陽興長、英發テクノ、雅城エナジー、武漢中儀、3R 環境の各社は、いずれもグリーン産業分野に属する事業を展開しています。当ファンドは多層のかつ体系的なグリーン投資ポートフォリオの構築を継続し、長期的な環境効果および社会価値を有する分野への社会資源の集積を牽引しています。これにより、中国経済の持続可能な発展に向けた安定的かつ力強い資金循環の形成に貢献しています。

グリーン産業、省エネルギー環境保護分野への投資規模（単位：億元）



2025 年度 グリーン・環境投資配分

100%

注記：投資規模は、当ファンドの設立日以降の累計額を記載しています。

投資理念

国連は 2015 年、「2030 アジェンダ（持続可能な開発のための 2030 アジェンダ）」を採択し、17 の目標から成る持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）を掲げました。これは、すべての人々にとってより公正で包摂的かつ持続可能な社会の実現を目指す国際的な共通目標です。

当ファンドは、国連が提唱する SDGs の趣旨に賛同するとともに、中国の「長江大保護」戦略に沿って、持続可能な発展の理念を投資活動に積極的に取り入れています。投資先の選定や投資判断の過程において、当ファンドは SDGs の枠組みと ESG の視点を体系的に取り入れ、環境・社会・経済の各側面で高い価値を有する優良プロジェクトを慎重に見極めていきます。あわせて、資金をグリーン成長に資する分野へ戦略的に配分することで、SDGs の理念を投資活動の全プロセスに浸透させ、資本を通じた価値創出と持続可能な発展の両立を推進しています。

投資基準

当ファンドは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を投資活動の重要な指針と位置づけ、SDGs の方向性に合致するプロジェクトを優先的に支援しています。特に、水資源利用、クリーンエネルギー、産業イノベーション、住み続けられる都市、つくる責任、気候変動対策といった重点分野に注力し、体系的な投資戦略を通じて持続可能性の理念を投資プロセス全体に深く組み込むことで、投資支援先の持続可能な開発能力の向上を推進しています。

重点的な SDGs の目標



その他の SDGs 目標



投資対象分野

当ファンドは湖北省を中核投資地域としつつ、全国の重点地域へ投資活動を展開しています。湖北省内では、長江流域における環境汚染対策や環境関連産業の発展に積極的に取り組むほか、ファンドの払込資本総額の 60% 以上を省エネルギー・環境保護分野へ投資することを目標に掲げています。クリーンエネルギー発電、新エネルギー電池、グリーンケミカル分野などの環境関連プロジェクトへの投資も継続的に拡大しており、中国政府が推進する「長江大保護」戦略に沿った取り組みを進めています。

全国市場への展開も進めており、投資先企業は江蘇省、広東省、青海省、寧夏回族自治区などでクリーンエネルギープロジェクトの建設に取り組むとともに、カザフスタンをはじめとする「一帯一路」沿線国への技術展開も進めています。当ファンドはこうした投資先企業の取り組みを支援することで、持続可能な投資分野におけるプレゼンスのさらなる向上を図っています。



リスク管理

当ファンドは慎重な原則に則り、持続可能な開発リスク管理を投資プロセス全体に深く組み込んでいます。中节能环保にて『総合リスク管理規程』を策定し、リスク管理の組織体制、責任分担および業務プロセス基準を明確化するとともに、「投資選別—デューデリジェンス—投資後モニタリング」を網羅する包括的なリスク管理体制を構築しています。

2025 年の SDGs 目標への対応と成果

当ファンドの SDGs 指標における年度ハイライトです。

国連持続可能な開発目標（SDGs）	関連投資支援先 取り組みの成果
1 貧困をなくそう 	天奈テクノロジー：鎮江新区慈善総会と「慈善寄付承諾書」を締結しました。また、鎮江新区慈善総会及び鎮江経済技術開発区平昌新城コミュニティ衛生サービスセンターと「基層医療機関向け医療設備慈善支援協定書」を締結するとともに、鎮江市丁崗鎮心湖コミュニティ居民委員会と「認定協定書」を締結し、「禾夥人」共同建設体験農園プロジェクトの区画を受け持ちました。 清溢光电：深圳市南山區における「精準扶貧（ターゲットを絞った貧困脱却）」プロジェクトの一環として、河源市連平県上坪鎮布連村の自有ブランド「活力の森天然水」を購入し、消費を通じた同市の貧困支援を実施しました。 上能電気：貧困支援、学業支援、高齢者支援、医療支援、障がい者支援に重点を置き、「チャリティーデー募金」を組織して、恵山区慈善会の活動を支援しています。 長源電力：農村振興を支援する専門部署を 1ヶ所設置し、支援対象人口は 3,560 です。支援資金として 156.06 万元を増額しました。 岳陽興長：汨羅市羅江鎮石俞山村および平江県岑川鎮高峰村を拠点にした支援活動を実施し、貧困脱却を果たした山間地域における交通不便の課題に対応するため、道路延伸工事を重点的に推進するとともに、山村のインフラ整備を継続的に改善しています。これまでに累計で支援資金 102 万元、支援資材（セメント） 570 トンを投入しました。 英発テクノ：公益活動を計 3 回実施し、救済物資および現金を合計 5 万元以上給付しました。 雅城エナジー：湖南省農村振興モデル指定町である寧郷巷子口鎮との「対口支援（ターゲットを絞った貧困支援）」を実施し、現地の政府や協同組合から評価されています。
2 飢餓をゼロに 	
3 すべての人に健康と福祉を 	天奈テクノロジー：公益慈善活動に積極的に取り組み「慈愛こども・成長支援」プロジェクトに呼応し、義援金により困難な状況にある児童へ実質的な支援を提供しました。 長源電力：社会福祉・慈善活動に熱心に参加し、对外寄付総額は 76 万元に達しました。 岳陽興長：社会緊急救援活動を積極的に支援し、岳陽市ブルー・スカイ・レスキュー隊に 2 万円の燃料カードを寄贈し、同隊の装備燃料コスト負担を実質的に軽減しました。 英発テクノ： ISO45001 認証を取得し、HSE（安全・衛生・環境）管理体制を確立・整備することで、職業健康を実効的に保障するとともに、義務献血などの公益活動を実施しています。 武漢中儀：都市水域の水質改善に取り組み、住民の安全で健康的な飲料水供給を確保しました。
4 質の高い教育をみんなに 	上能電気：江蘇省錫山高級中学実験学校の「教育発展特別基金」を支援し、同校に対する教育援助を実施しました。 長源電力：「長源電力タンポポ・ボランティアサービス隊」を基盤として、「思いやりの輪、温かな寄り添い」をテーマに、電力事業に根ざした三つの社会貢献プログラムを軸とするボランティア活動体系を構築しています。活動は、電力・エネルギーに関する啓発活動、女子生徒支援プログラム、手紙を通じた交流支援プログラムの三つを柱として展開しています。また、教育関連の取り組みでは就学支援活動を重点的に推進し、質の高い教育の発展に貢献しています。

国連持続可能な開発目標（SDGs）	関連投資支援先 取り組みの成果
5 ジェンダー平等を実現しよう 	天奈テクノロジー：『女性権益保護法』および『女性労働者労働保護特別規定』を厳格に遵守し、女性従業員に対する労働保護を実施するとともに、法律に基づき産休・育児休暇などの福利厚生待遇を付与し、女性従業員の権益を実効的に保障しています。 上能電気：男女平等の原則を堅持し、女性従業員に対して平等な成長機会を提供しています。 岳陽興長：『女性三期休暇保障制度』を厳格に実施し、法に基づき女性従業員が相応の休暇を取得できるよう保障しています。また、専門健康診断を設置し、定期的に健康講座を開催するなど、女性従業員の健康ニーズに的確に応える、女性へのケアを一層深化させています。
6 安全な水とトイレを世界中に 	天奈テクノロジー：構内における廃水処理施設の整備を完了し、発生源での水質汚染を低減するとともに、水資源の持続可能な利用を推進しています。 上能電気：従業員の基礎的な健康保障に配慮し、オフィスエリアに高品質なボトルウォーターおよび浄水設備を設置することで、給水源から飲料水の衛生と安全性を厳格に確保し、利便性が高く安全で健康的な飲水環境を構築しています。 長源電力：各子会社は節水管理方針を積極的に貫徹し、取水のコンプライアンス遵守、節水による効率向上などにおいて顕著な成果を上げ、社会的評価を得ています。 岳陽興長：「技術節水－循環再利用－システム最適化」の三位一体による節水管理システムを構築し、水資源の循環利用と排水の体系的管理を推進しています。 英発テクノ：節水プロセスの継続的改善および節水技術改善を推進し、廃水の発生源分別と二次処理の実施、設備更新、プロセス最適化、用水管理などの措置を通じて、2025 年において循環水利用量は 2.23 億トンを達成し、水資源利用効率を効果的に向上させました。 雅城エナジー：廃水処理において排水ゼロエミッションを実現し、副産物・硫酸アンモニウムを肥料として販売し、循環利用を実現しています。 武漢中儀：「発生源－管路網－ポンプ場－処理場－河川」を結ぶスマート排水統合プラットフォームを構築するとともに、管路網データの動的更新や運用保守のインテリジェント監視を実現しています。さらに、雨水・污水管の改造、管路修復、水環境管理に対する意思決定を支援しています。管路修復資材・サービスおよび維持管理設備による生産額は 2 億元に達し、住民の用水安全を確保するとともに、水質汚染に伴う健康リスクを著しく低減しました。 3R 環境：廃酸の資源化・総合利用を展開し、産業廃水の排出を削減することで、水環境の実効的な保護に取り組んでいます。
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	天奈テクノロジー：エネルギー管理システムを構築し、グリーンエネルギーの積極的利用を推進しています。太陽光発電の累計使用量は 2,969,403.6kWh に達します。 上能電気：光伏インバータ、蓄電システムおよびデジタル電力分野に注力し、「太陽光発電＋蓄電」の融合ソリューションの提供に取り組むことで、世界的なエネルギーのグリーン転換を推進しています。また、製品のカーボンフットプリント算定を実施し、排出源の精緻な特定を行っています。 長源電力：エネルギー安全保障に関する新戦略を着実に実践し、産業構造およびエネルギー構成の最適化を推進しています。クリーンエネルギー設備容量は 329.25 万 kW に達し、クリーンエネルギー発電量は 45.4 億 kWh に達しました。その内訳は水力発電 16.61 億 kWh、風力発電 4.29 億 kWh、太陽光発電 24.5 億 kWh となっています。 岳陽興長：生産プロセスの継続的な最適化および設備のエネルギー効率改善を推進し、エネルギー利用効率全体の大幅な向上を実現しています。 英発テクノ：国家のエネルギー戦略に積極的に対応し、クリーンエネルギーの利用比率を高めるとともに、中山大学との産学連携を通じて高効率 TOPCon 電池の量産化に向けた中核技術の開発を推進しています。N 型電池セルの生産能力は 39GW、直引き単結晶シリコンインゴットの生産能力は 12GW に達しています。 雅城エナジー：四酸化三コバルト 648 トン、水酸化第一コバルト 2,026 トン、リン酸鉄 47,753 トンの生産能力を達成するとともに、149 万 kWh のクリーン電力を生産し、クリーンエネルギー産業チェーンの発展に貢献しています。

国連持続可能な開発目標（SDGs）	関連投資支援先 取り組みの成果
	投資支援先の 9 社において、2025 年に約 1.8 万人 の雇用を創出しました ¹ 。内訳として
	天奈テクノロジー ：雇用ポストを 913 件創出し、女性従業員の割合は 20% を占めます。
	清溢光電 ：雇用ポストを 589 件創出しました。
	上能電気 ：雇用ポストを 1,942 件創出し、そのうち 124 人が少数民族、女性従業員の割合は 22% を占めます。
	長源電力 ：雇用ポストを 4,555 件創出し、そのうち 518 人が少数民族、女性従業員の割合は 20% を占めます。
	岳陽興長 ：雇用ポストを 867 件創出し、女性従業員の割合は 29% を占めます。
	英発テクノ ：雇用ポストを 7,678 件創出し、そのうち 572 人が少数民族、女性従業員の割合は 27% を占めます。
	雅城エナジー ：雇用ポストを 585 件創出し、女性従業員の割合は 21% を占める。
	武漢中儀 ：雇用ポストを 330 件創出し、そのうち 9 人が少数民族、女性従業員の割合は 22% を占めます。
	投資支援先の 9 社において、2025 年における研究開発投資額は 108,317 万元 です ² 。内訳として
	天奈テクノロジー ：研究開発投資額は 10,859 万元 であり、研究開発要員の割合は 26.83% です。これまでに、中国国家知識産権局より発明特許 35 件及び実用新案特許 72 件の授權を取得しているほか、清華大学より専用実施権の許諾を受けた保護期間内の特許が 7 件あります。また、米国特許商標庁より発明特許 5 件、日本特許庁より発明特許 2 件及び実用新案特許 1 件、韓国特許庁より発明特許 3 件、台湾（中国）特許庁より発明特許 1 件のそれぞれ授權を取得しています。
	清溢光電 ：研究開発投資額は 6,419 万元 であり、研究開発要員の割合は 22.24% です。累計で特許 128 件を取得しており、内訳は発明特許 38 件、実用新案特許 90 件です。また、ソフトウェア著作権は 53 件です。
	上能電気 ：研究開発投資額は 32,772 万元 であり、研究開発要員の割合は 30.95% です。累計で登録特許 300 件を取得しており、内訳は発明特許 49 件、実用新案特許 194 件、意匠特許 57 件です。
	長源電力 ：研究開発投資額は 9,961 万元 です。累計で登録特許 287 件を取得しており、内訳は発明特許 47 件です。また、国家科学技術賞および省（部）クラスの科学技術プロジェクトの受賞・採択件数は累計 16 件です。
	岳陽興長 ：研究開発投資額は 7,567 万元 であり、研究開発要員数は 160 名です。累計で登録特許 61 件を取得しています。
	英発テクノ ：研究開発投資額は 37,000 万元 であり、研究開発要員数は 565 名です。年度内に特許 310 件を取得しました。
	雅城エナジー ：研究開発投資額は 2,539 万元 であり、研究開発要員の割合は 16% です。累計で登録特許 63 件を取得しており、内訳は発明特許 43 件、実用新案特許 20 件です。
	武漢中儀 ：研究開発投資額は 1,200 万元 であり、研究開発要員の割合は 15% です。累計で登録特許 229 件を取得しており、内訳は発明特許 46 件、実用新案特許 130 件、意匠特許 53 件です。また、ソフトウェア著作権は 30 件を保有しています。

注 1：【統計範囲】創出雇用の統計範囲は、天奈テクノロジー、清溢光电、上能電気、長源電力、岳陽興長、英発テクノ、雅城エナジー、武漢中儀を対象としております。
注 2：【統計範囲】研究開発投資額の統計範囲は、天奈テクノロジー、清溢光电、上能電気、長源電力、岳陽興長、英発テクノ、雅城エナジー、武漢中儀を対象としております。

国連持続可能な開発目標（SDGs）	関連投資支援先 取り組みの成果
	天奈テクノロジー ：公開かつ平等な採用原則を堅持し、性別、民族、信条等に基づく差別を排除し、従業員のあらゆる合法的権利・利益を十分に保障します。
	上能電気 ：公平・公正・透明の原則に則り、国家の法律法規に基づいて秩序ある規範的な採用活動を実施し、最も適した人材の評価と選抜に注力します。あらゆる雇用差別を断固として回避し、従業員の権利・利益を実効的に保障します。
	長源電力 ：関連する国家法規を厳格に実施し、平等雇用の規範を堅持します。異なる国籍、人種、性別、宗教、文化的背景を持つ従業員を平等に扱い、女性や障がい者など差別を受けやすいグループが平等な就業機会を享受できるよう確保します。
	岳陽興長 ：いかなる形態の差別にも断固として反対し、全ての従業員が採用、昇進、報酬等において平等な機会を享受できるよう保証します。
	英発テクノ ：多様性、平等、包括性（Diverse, Equity & Inclusive）に富む職場環境の積極的構築に努め、 滁州市が調和のとれた労使関係モデル単位 に選定されました。
	清溢光電 ：清溢光電は、深圳市南山区のターゲット支援事業に積極的に参加し、消費扶貧を通じて河源市の特産品を購入することで、農村産業振興を支援し、持続可能なコミュニティ構築を推進しています。
	長源電力 ：松滋市政府と新エネルギー事業協力協定を締結し、 150 万 kW の開発権を獲得しました。都市のグリーン・低炭素発展を推進しています。
	武漢中儀 ：都市インフラの維持管理と更新を推進し、検査機器 600 台、修復機器 25 台、修復資材 250 キロメートル生産・供給しています。
	岳陽興長 ：高効率 VOC（揮発性有機化合物）処理技術・システムを開発しています。ゼオライト焼成排ガス処理、ポリプロピレン排ガス処理等のプロジェクトを含み、発生源でのオゾン及び粒子状物質生成を抑制し、大気汚染を効果的に管理しています。
	英発テクノ ：包装資材のリサイクル率の継続的向上に努め、徳耀工場ではコーナーガード 171,700 本を回収し、回収率は 39% に達しました。
	天奈テクノロジー ：生産プロセスに膜分離装置および排ガス焼却炉を設置し、廃ガスの資源化利用と無害化処理を実現しています。
	上能電気 ：国家工業・情報化省の「 グリーンサプライチェーン管理企業 」に選定され、サプライチェーン全工程における協調的な効率向上を実現しました。
	長源電力 ：子会社の青山公司是、武漢市「 廃棄物ゼロ工場 」および国家エネルギーグループ「 廃棄物ゼロ企業 」の称号を獲得しました。
	岳陽興長 ：循環利用戦略の実施を通じ、排煙オンライン監視システムの統合、排水可視化管理、および廃有機溶剤再生利用プロジェクトを推進し、発生源での廃棄物発生量の低減を図っています。
	英発テクノ ：グリーン生産の理念を体系的に実践し、包装資材の回収と資源循環利用に取り組んでいます。

国連持続可能な開発目標（SDGs）	関連投資支援先 取り組みの成果
	投資支援先の 9 社において、2025 年に少なくとも 3,825,377 トンの二酸化炭素排出削減が可能です ^{3,4} 。内訳としては
	天奈テクノロジー ：二酸化炭素排出量を 2,438 トン削減し、石炭使用量を約 898 トン節約しました。
	上能電気 ：二酸化炭素排出量を 276 トン削減し、石炭使用量を約 106 トン節約しました。
	長源電力 ：二酸化炭素排出量を 3,727,340 トン削減し、石炭使用量を約 1,372,896 トン節約するとともに、 3,496 トンの二酸化硫黄、 568 トンの窒素酸化物、ならびに 59 トンの煤塵の排出を削減しました。
	英発テクノ ：省エネ技術改造プロジェクトを 35 件実施し、二酸化炭素排出量を約 94,100 トン削減しました。
	雅城エナジー ：二酸化炭素排出量を 1,223 トン削減し、石炭使用量を約 451 トン節約しました。
	上能電気 ：投資先の立地選定及び運営プロセスにおいて、水生生態系への影響を十分に考慮し、水生生物への攪乱や破壊を軽減する効果的な措置を講じています。
	長源電力 ：「母なる川を守ろう」などの特色あるブランドキャンペーンを積極的に企画・実施しています。子会社の十堰会社は増殖放流活動を活発に展開し、管轄する鄂坪発電所、白沙河発電所、大峡発電所が位置するダム湖流域（匯湾河、泉河流域）において稚魚 30 万匹を放流しました。
	英発テクノ ：安徽省天長市および南京市に「漁電共生型太陽光発電」プロジェクトを建設しています。設備容量はそれぞれ 150MW および 180MW です。「上部で発電、水中で養殖」を行う新たな資源利用モデルを構築します。クリーンエネルギーの生産に加え、地域の養殖産業の発展をさらに推進しています。
	武漢中儀 ：情報化・ネットワーク化された都市管路網の整備を通じて、都市水域の水質を改善し、水生生態系を保護することで、水中生物にとって良好な生息空間を創出しています。

注 3：【統計範囲】二酸化炭素排出削減量の統計範囲は、天奈テクノロジー、上能電気、長源電力、英発テクノ、雅城エナジーを対象としております。
注 4：中国電力企業連合会が公表した『中国電力業界年度発展報告 2025』によれば、2024 年における全国の 6,000kW 以上の火力発電所の送電端標準石炭消費量は 302.4g/kWh です。また、単位火力発電電力量当たりのばいじん、二酸化硫黄および窒素酸化物の排出量は、それぞれ 13mg/kWh、77mg/kWh、125mg/kWh です。さらに、『中国電力業界年度発展報告 2024』によれば、全国の単位火力発電電力量当たりの二酸化炭素排出量は約 821g/kWh です。これらの数値に基づき、新エネルギーである太陽光発電に換算すると、1kWh 当たり年間で標準石炭 302.4g の節約、二酸化炭素排出量 821g の削減、二酸化硫黄排出量 0.077g の削減、窒素酸化物排出量 0.125g の削減、粉じん排出量 0.013g の削減が見込まれます。

国連持続可能な開発目標（SDGs）	関連投資支援先 取り組みの成果
	上能電気 ：投資先立地地域の生物多様性保護を重視し、現地生態系への悪影響回避に努めます。
	長源電力 ：所属する各水力発電所において生態流量の 100% 放流を 24 時間確保するとともに、白沙河水力発電所の斜面への野生大豆植栽をはじめとする生態修復プロジェクトを実施しています。
	清溢光电 ：産業協力のエコシステム構築に積極的に取り組み、国内重点分野の複数企業と深い協力関係を築き、産業サプライチェーンにおける協調的イノベーションと高品質発展を推進しています。
	上能電気 ：科学的な品質管理システム、デジタル技術の融合、および全員参加型の品質文化を構築し、製品の信頼性と顧客満足度の継続的向上を図るとともに、高い品質基準を通じて公正かつ責任ある企業統治体制の構築を推進します。
	長源電力 ：「国家のエネルギー、責任ある原動力」との理念を実践し、公益事業への継続的な投資を通じて、現代的な新型国有企業としての責任ある姿勢を具体的な行動で示しています。これにより、公正で包摂的かつ責任ある社会づくりを推進しています。
	岳陽興長 ：制度整備を基盤とし、定例的な特別検査、テーマ別啓発活動、社内広報誌などを通じて、「腐敗防止・清廉政治」を継続的に推進し、清廉な業務遂行の防壁を強化しています。
	英発テクノ ：生産・経営の全工程において、自発性、平等、公平、誠実の原則を厳守します。汚職、恐喝、詐欺、資金洗浄などの行為に対しては「ゼロトレランス（絶対容認しない）」の姿勢を堅持し、公正で透明性が高く、持続可能なビジネスエコシステムの共構築に尽力しています。
	上能電気 ：グローバルな運営ネットワークを構築し、販売・納品・サービスを網羅するグローバル統合能力を形成しています。
	長源電力 ：各方面との緊密な連携を重視し、官民連携、企業間連携、産学連携の実施、業界フォーラム・展示会への積極的な参加などを通じて、政府機関、大学・研究機関、同業他社との深い協力関係を構築し、持続可能な開発のための協力ネットワークを共に築いています。
	英発テクノ ：業界団体および産業サプライチェーンパートナーとの多面的な協力を積極的に展開し、市場開拓、技術研究開発、管理レベル向上、標準の共同策定などを通じて相乗効果を創出し、公正な競争と調和のとれた共生産業エコシステムの構築を目指します。また、持続可能なサプライチェーンプロジェクトを実施し、ESG 基準をサプライヤー管理に深く統合しています。サプライチェーンから始まり、協力によって共に強くなる「協働発展、責任共有」の新たな産業エコシステム構築をパートナーと共に推進しています。

SDGs 目標への主要な取り組みと成果

SDGs 目標 6 「安全な水とトイレを世界中に」への貢献



目標背景

世界の水資源システムは、環境汚染、水不足、ガバナンスの効率性不足など、複数の課題に直面しています。国連『2025 年持続可能な開発目標報告書』によると、現在、世界の生活排水の安全処理率はわずか 56% にとどまり、多くの地域で水ストレスが深刻な状態にあります。2024 年末時点でも、世界では約 22 億人が安全に管理された飲料水を利用できない状況にあります。この体系的な危機に対処するためには、技術革新の飛躍、水管理システムの高度化、政策枠組みの整備が急務であり、水資源の持続可能な管理モデルの構築を継続的に推進することが求められています。

対応行動

国連 2030 年目標

目標 6.3 水質

2030 年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加させることにより、水質を改善する。

目標 6.4 水利用効率

2030 年までに、全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。

中国の対応措置

飲料水の安全確保と節水型社会の構築を推進しています。水資源の効率的な活用を図るとともに、大河川や湖沼の生態系保護・修復事業にも積極的に取り組んでいます。加えて、水管理に関する国際協力および技術交流の拡大にも注力しています。

当ファンドの経営面での対応状況

- 廃水処理関連プロジェクトへの投資を積極的に進めています。同時に、環境リスクの高い投資先企業に対しては、廃水処理の実態把握と管理の徹底に努めています。
- 節水理念を積極的に提唱し、従業員の節水意識向上教育を強化するとともに、水資源利用効率の継続的な向上を図っています。

投資支援先の対応進捗

天奈テクノロジー

- 構内に廃水処理システムを敷設し、製造工程で発生する廃水を自社工場の前処理施設で一次浄化した後、外部処理施設に移送し浄化した上で、最終的に基準を満たして排出しています。

上能電気

- 散水エリアに貯水池を新設し、水資源の循環利用を効果的に推進しています。

長源電力

- 雨水回収システムを構築し、水資源のリサイクル利用を推進しています。傘下の随州公司では、廃水処理場の再生水を主水源、白雲湖ダムの表流水を予備水源とする二元給水システムを構築し、段階的給水（カスケード供水）により排水・廃水の資源化利用を実現することで、新規取水量の大幅削減を達成しています。

岳陽興長

- 「プロセス節水—循環再利用—システム最適化」の三位一体による節水管理システムを構築し、生産用水システムの品質向上・改修工事を段階的に実施しています。

英発テクノ

- 廃水を発生源および成分別に分類管理し、二段階の排水処理プロセスを導入しています。
- 節水プロセスの継続的な最適化、設備更新・改造、生産プロセスの改善および用水管理の強化といった技術的・経済的施策を推進し、用水効率の向上を図っています。

武漢中儀

- 「発生源—管路網—ポンプ場—処理場—河川」に至る全プロセスをカバーするスマート排水一体化監視プラットフォームを構築し、排水管路網データの動的リアルタイム更新、点検・維持管理の高度化、運用監視のインテリジェント化を実現します。これにより、雨水・污水管の混合接続改修、管路網検査・補修、処理場・ポンプ場の運転調整、河川・湖沼の水環境管理などに対する意思決定支援および補助機能を提供しています。

雅城エナジー

- 廃水ゼロエミッション技術を採用し、処理過程で発生する硫酸アンモニウムを副産物として回収・肥料用途で販売しています。

3R 環境

- 廃酸の資源化・総合利用を推進し、産業廃水の排出を削減しています。同社製品は、廃水処理、汚泥脱水、金属・プリント基板（PCB）エッチング、飲料水処理、製薬など幅広い分野で利用され、水環境の実効的な保護に貢献しています。

目標成果

当ファンドは SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」に積極的に対応し、汚水処理および管網整備分野における優良企業に注目しています。体系的な投資後バリューアップを通じて、投資先企業のサステナビリティ・パフォーマンスの向上を促進するとともに、節水管理体系の構築、排水の分類管理の実施、節水プロセスの最適化といった重点領域に注力しています。これにより、水資源の高効率な循環利用を総合的に推進し、「長江大保護」戦略の着実な実行に貢献しています。

2025 年度 SDGs 目標 6 への対応成果

■ 上能電気



製品散水の年間使用量を

95% 削減

■ 英発テクノ



循環水利用量を

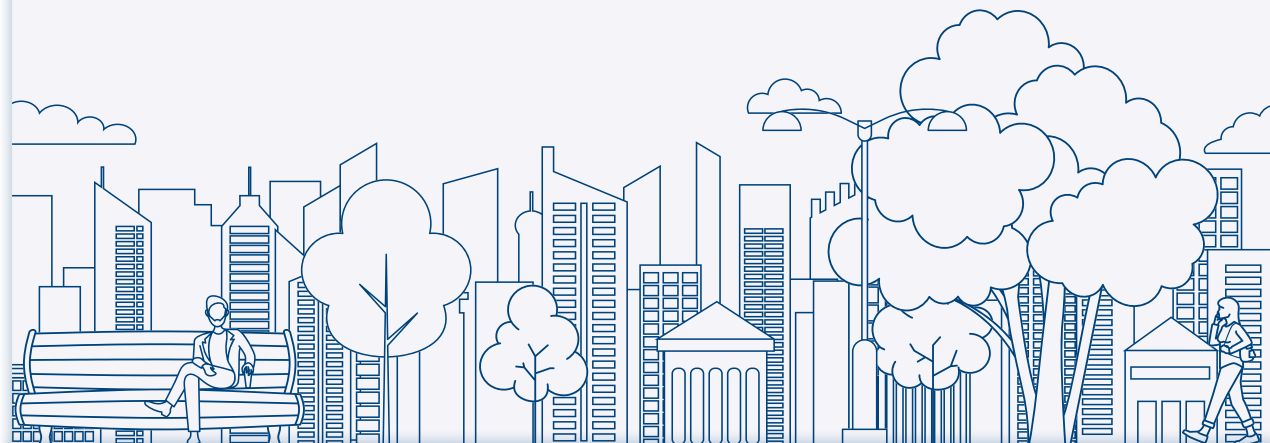
2.23 億トンの達成

■ 武漢中儀



住民用水安全の確保に向けた、武漢中儀による管路修復資材・サービスおよび維持管理設備の生産額

2 億元



代表的な事例



事例

武漢中儀 吳中区「水管理官」及び管路網整備重点特許経営プロジェクトに参画、太湖流域水環境管理に貢献

SDGs への貢献:

- 「地下インフラ整備」を切り口として、グリーンで居住性に優れ、低炭素かつレジリエンスを備えた現代型の市民都市の構築推進
- 流域の水環境の安全確保、下水集中収集率の 92% への向上、年間溢流量 500 万立方メートル以上の削減

プロジェクト進捗:

2025 年 8 月、蘇州市吳中区は長江生態環境保護集団と戦略的協力協定を締結し、プロジェクト総投資額は 32.9 億元に達しました。武漢中儀は長江生態環境保護グループを中心とする共同企業体の一員として、管網整備を中核に据え、「処理場—管網—河川・湖沼」の一体化運営モデルに連携し、太湖流域の水環境改善プロジェクトに対し、管網の「検査・維持・補修・管理・サービス」を一体化したワンストップの運営維持ソリューションを提供しています。これにより、都市下水の全面収集、収集分の完全処理、処理水の全面的な基準適合および综合利用の実現を促進し、太湖の水環境の質の根本的な改善と向上を支えます。

吳中区における「水管家」および管網整備特許経営プロジェクトは、全域を対象とした統合的な水管理と管網のボトルネック解消を通じて、地域の下水处理効率を効果的に向上させています。老朽化した管路、漏水や誤接続、汚水处理場の稼働率飽和といった課題に対して的確に解決します。プロジェクト完了後は、吳中区の下水集中収集率は 92% まで向上し、年間越流量は 500 万 m³ 以上削減され、流域の水環境は顕著に改善される見込みです。本プロジェクトは、生態環境インフラの整備・改修における投資課題の解決に向けた有益な実践であるとともに、「長江大保護」を社会公共事業から民生サービス産業へと発展させる上での先進的な取り組みとなっています。



事例

武漢中儀 山東積高との連携により桓台県の給水管網のスマート運用を支援、安定的な給水の確保に貢献

SDGs への貢献:

- 管路網のスマート化による、住民用水安全と水環境衛生の保障
- イノベーションを駆動力とし、都市インフラ整備の推進

プロジェクト進捗:

2025 年 7 月、山東省淄博市において初めて給水管路の内視検査技術が導入され、武漢中儀の G70-U2 傘型給水管内検査ロボットを用いて、総延長 10km に及ぶ都市幹線給水管網に対し全域的な「内視点検（インライン診断）」を実施しました。本検査は通常の給水を停止することなく施工され、管路の潜在的な漏水やスケール付着等の欠陥を高精度で把握し、当地のスマート水務構築に対する重要な技術的支援を提供しています。

G70-U2 傘型給水管内検査ロボットは、音響技術および映像技術を基盤とし、ワンタッチでの傘部収納機能を備えており、長距離または高流速の管路においても検査ユニットの円滑な回収が可能です。専用投入装置により断水することなく検査ユニットを管内に投入し、水流を利用して管内を移動させることで、高感度ハイドロフォン、高解像度カメラユニット、IMU 姿勢センサー等を活用した非破壊検査を実現しています。これにより、口径 DN200 以上の給水管における微小漏水、損傷、管内付着物、エアポケット、異物、堆積物、冗長接続等の異常を効果的に検出し、技術による節水の高度化に寄与しています。



G70 給水管道内部検査ロボット

SDGs 目標 7 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」への貢献



目標背景

現在、再生可能エネルギーの伸びは著しいものの、持続可能な開発目標の達成には、クリーンエネルギーへの投資をさらに大幅に拡大する必要があります。国連『2025 年持続可能な開発目標報告書』の調査によれば、関連投資と行動を加速できなければ、2030 年になっても世界で約 6 億 4,500 万人が電力供給を受けられないと予測されています。世界的な気候目標とネット・ゼロ排出というビジョンを実現するためには、再生可能エネルギーの導入目標を設定し、最終エネルギー消費部門でより強力な政策措置を実施するとともに、途上国への体系的な支援をさらに強化することが鍵となります。

対応行動

国連 2030 年目標

目標 7.1 エネルギーへの普遍的アクセス

2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。

目標 7.3 エネルギー効率

2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

中国の対応措置

2015 年以降、クリーンで低炭素、安全かつ効率的なエネルギー体系の構築を積極的に推進し、エネルギー生産・消費構造の不断の最適化を図ることで、エネルギー利用効率を著しく向上させてきました。

当ファンドの経営面での対応状況

- クリーンな新エネルギー利用を積極的に推進するとともに、従来型エネルギーについては、合理性、必要性、節約の原則を堅持しています。
- オフィスエネルギー管理を最適化し、省エネルギー機器の導入を広く推進するほか、投資先企業に対し、エネルギー効率向上や低炭素転換といった重要目標の実践を奨励しています。

投資支援先の対応進捗

天奈テクノロジー

- 国家のグリーン・低炭素発展戦略に積極的に対応し、クリーンエネルギーの全面的な導入を推進しています。生産および運営の各プロセスにおいて再生可能エネルギーの優先利用を進め、グリーンエネルギー使用比率の継続的な向上を図っています。
- エネルギーマネジメントシステムを構築し、第三者認証を取得しています。

上能電気

- 太陽光インバータ、蓄電用コンバータ、蓄電システム、デジタル電力および発電所開発などの分野において継続的に事業を深化させ、グローバルにおける全シナリオ対応型の「太陽光発電＋蓄電」統合ソリューションの提供に取り組み、世界のエネルギーのグリーン転換の加速に貢献しています。
- 製品カーボンフットプリントおよび温室効果ガスの検証を継続的に実施し、製品ライフサイクルにおける炭素排出の主要ポイントを体系的に識別し、業界の排出削減に積極的に参画しています。

長源電力

- 電力制度改革の新たな環境に積極的に対応し、市場志向を堅持しつつ、質と効率を重視した発展を推進しています。風力発電を優先的に開発し、太陽光発電を厳選して開発を進め、グリーン・低炭素転換を継続的に加速しています。湖北省漢川市、随州市、荊門市、荊州市、襄陽市などにおいて太陽光発電所の建設を展開しています。

岳陽興長

- 生産プロセスの最適化および設備のエネルギー効率改善を通じて、全社的なエネルギー利用効率を業界先進水準へ引き上げることに取り組んでいます。

英発テクノ

- グリーン運営において、高新区（ハイテク区）における水力発電の優位性を活用し、宜賓基地のクリーンエネルギー使用比率を 60% まで引き上げ、その低炭素運営を確保しています。

雅城エナジー

- 四酸化三コバルト、水酸化コバルト（Ⅱ）、リン酸鉄など新エネルギー分野における重要材料の量産化を積極的に推進し、産業チェーン上流の供給体制を効果的に強化することで、クリーンエネルギー産業の発展を支えています。

目標成果

当ファンドは、SDGs の目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」に積極的に応え、太陽光発電、風力発電、蓄電池などのクリーン分野に注力しています。また、環境保護産業チェーンにおいて核心的な競争力を秘めた企業のプロジェクト開発範囲を拡大しています。さらに、技術開発支援、市場リソースの共有、経営ノウハウの提供といった多角的な投資後支援を通じて、クリーンエネルギー産業の活力ある発展を推進し、世界のエネルギー転換プロセスの加速に貢献しています。

2025 年度 SDGs 目標 7 への対応成果

■ 天奈テクノロジー



太陽光発電の累計使用量

2,969,403.6 kWh の拡大

■ 上能電気



太陽光発電用インバーター（320kW、465kW、4.4MW 機種）および蓄電用パワーコンディショナー（1,250kW、215kW 機種）を含む複数の中核製品について、**ISO 14067 製品カーボンフットプリント認証**取得

■ 長源電力



クリーンエネルギー設備容量

329.25 万 kW



クリーンエネルギー発電量

45.4 億 kWh

■ 英発テクノ



N 型太陽電池セル生産能力

39 GW



直引単結晶シリコンインゴット生産能力

12 GW



その内訳、水力発電

16.61 億 kWh



風力発電

4.29 億 kWh



太陽光発電

24.5 億 kWh

■ 雅城エナジー



四酸化三コバルト

648 トン



水酸化第一コバルト

2,026 トン



リン酸鉄

47,753 トン

の生産能力達成



クリーン電力

149 万 kWh の生産

及びクリーンエネルギー産業チェーン発展への貢献

代表的な事例



長源電力 松滋市八宝鎮 100MW 風力発電所プロジェクト

SDGs への貢献:

- 地域におけるクリーン電力供給の支援、エネルギー構造のグリーン転換の推進
- グリーン産業サプライチェーン発展の促進、地域経済成長の促進
- 炭素排出削減への貢献、地域の気候変動に対するレジリエンスの強化

プロジェクト進捗:

本プロジェクトは湖北省松滋市八宝鎮、澆市鎮、沙道観鎮に位置し、総建設規模は 100MW です。計画では、定格出力 6.25MW の風力発電機 16 基を設置し、併せて 110kV 昇圧所（50MW/100MWh のエネルギー貯蔵システムを含む）、35kV 開閉所（20MW/40MWh のエネルギー貯蔵システムを含む）、および 10kV 開閉所（10MW/20MWh のエネルギー貯蔵システムを含む）を建設し、「風力発電、エネルギー貯蔵、送電」を一体化したクリーンエネルギー発電施設を構築します。

プロジェクト完成後、同社の風力発電設備容量は 26.4 万 kW から 36.4 万 kW に増加し、電源構成をさらに最適化するとともに、クリーンエネルギー供給能力を強化します。これにより、地域のグリーン・低炭素発展を支援し、新型電力システムの構築を力強く後押しします。



英発テクノ 年間 12GW 単結晶シリコンインゴット及び 6GW HPBC 高効率結晶シリコン電池（第 2 期）プロジェクト

SDGs への貢献:

- 地域の太陽電池産業発展の支援、地域経済にグリーン成長原動力の付加
- プロジェクト完成後、年間 12GW の単結晶シリコンインゴットおよび 6GW の HPBC 高効率結晶シリコン電池の生産能力の実現
- HPBC 高効率結晶シリコン電池 1 枚ごと、年間 12kg の炭素排出削減効果の発揮

プロジェクト進捗:

2023 年、英発睿能宜賓拠点は「年間 24GW 単結晶シリコンインゴット生産プロジェクト」の建設を正式に開始し、2024 年までに 12GW 分の生産能力構築に成功、安定稼働を実現しました。2025 年 4 月、市場変化に積極的に対応するため、宜賓拠点は戦略配置を最適化し、当初計画していた第 2 期 12GW 単結晶シリコンインゴットプロジェクトを取りやめ、代わりに 6GW の HPBC 高効率結晶シリコン電池プロジェクトを推進することとしました。

現在、12GW 単結晶シリコンインゴットプロジェクトはフル生産・フル販売を達成しています。6GW HPBC 高効率結晶シリコン電池プロジェクトは着実に進行しており、年内にも宜賓で初の BC 電池生産開始が見込まれます。同電池は高効率と低コストという二重の優位性を有し、1 枚で一般家庭の 3 日分の電力需要を賄うことができます。本プロジェクトの立ち上げは、宜賓における国家クラスの結晶シリコン太陽光発電産業クラスター構築を効果的に支援し、地域のグリーン転換と高品質発展に強力な勢いをもたらします。



年間 12GW 単結晶シリコンインゴット及び 6GW HPBC 高効率結晶シリコン電池（第 2 期）プロジェクト

事例 上能電気 寧夏国有資本運営グループ（寧国運）塩池高砂窩 1.2GW 発電所が順調に系統連系を達成、地域のグリーン転換を推進

SDGs への貢献：

- 地域の太陽光発電産業発展の推進、経済成長とエネルギー転換の牽引
- プロジェクト完成後、年間約 22.5 億 kWh のクリーン電力を供給見込み
- 年間で標準石炭約 55.64 万トンの節約、二酸化炭素排出量 152.97 万トンの削減見込み

プロジェクト進捗：

2025 年 7 月、寧国運塩池高砂窩 1.2GW 発電所が順調に系統連系・発電を開始しました。上能電気はプロジェクトの中核機器サプライヤーとして、高効率かつ信頼性の高い製品により、地域のグリーンエネルギー発展に持続的な原動力を提供しました。

本発電所の総設備規模は 1.2GW に達し、うち太陽光発電容量は 0.92GW です。上能電気は本プロジェクトに対し、320kW スtringインバーターを納入しています。機器は IP66 保護等級および C5 防食等級を備え、砂嵐、雨雪、寒波、高温などの過酷な自然環境にも適応し、プロジェクトの高効率かつ安定した運転を支えています。製品は直流入力スイッチのインテリジェント保護、PID（Potential Induced Degradation）対策ソリューション、IV カーブ走査機能を搭載しており、システム障害を迅速に特定し、運用保守の対応効率を向上させます。

プロジェクト稼働後は、年間約 22.5 億 kWh のクリーン電力を供給する見込みであり、これは標準石炭 55.64 万トンの節約、二酸化炭素排出量 152.97 万トンの削減に相当します。さらに、煤塵や窒素酸化物などの汚染物質排出も著しく削減され、地域のエネルギー構造最適化と産業のグリーン転換を推進する上で重要な支えとなります。



寧国運塩池高砂窩 1.2GW 発電所

事例 上能電気 サウジアラビアで 4GW 太陽光プロジェクトを再受注、中東・アフリカ戦略配置の深化を継続

SDGs への貢献：

- クリーンエネルギーの規模的応用の推進、エネルギーアクセスと持続可能な供給の支援
- インテリジェントなインバーター技術による太陽光発電設備の品質向上、産業グリーンイノベーションの支援
- 中東・アフリカとの長期協力の展開、現地化サービス体制の構築、国際技術協力と能力構築の推進

プロジェクト進捗：

2025 年 12 月、上能電気はサウジアラビア PIF 第 6 期太陽光発電所における 4GW 太陽光発電用インバーターの納入契約を正式に締結しました。今回の協力は、同年に 2.6GW 分のインバーター納入を成功させた PIF 第 4 期プロジェクトに続き、PIF シリーズプロジェクト群におけるさらなる規模拡大かつ戦略的な飛躍となります。

納入範囲は、プロジェクト群内のフライス（Khulis）、ビシャ（Bisha）、フマイジ（Humajj）の 3 サブプロジェクトをカバーし、それぞれ 1GW、2.37GW、0.664GW の太陽光発電用インバーターを供給します。プロジェクトでは、上能電気の 8.8MW 集中型インバーター昇圧一体機ソリューションを採用します。高効率なシステム統合、環境適応性、投資コストの最適化、調整の容易さ、系統連系のインテリジェント化などで顕著な優位性を発揮します。

近年、上能電気は中東・アフリカ市場への深耕を続けており、これまでの累計協力規模は 10GW を突破しています。1.016GW のサウジアラビア AlKahfah 太陽光発電所、2.6GW のサウジ PIF4 太陽光発電所、およびエジプト Abydos 150MW/300MWh 大型エネルギー貯蔵発電所など、一連の象徴的プロジェクトに参画しています。同社は地域支社、マーケティングセンター、アフターサービスネットワークを網羅する体系を徐々に構築し、中東・アフリカ地域の再生可能エネルギー発展に強力な勢いをもたらしています。

事例 上能電気 インドで世界最大級のエネルギー貯蔵プロジェクト構築を支援——技術深耕で南アジアのエネルギー転換を推進

SDGs への貢献：

- エネルギー貯蔵技術を通じてエネルギーインフラ高度化の推進、クリーンエネルギー安定供給の支援
- 国際協力、技術移転、現地化体制の共構築による持続可能なエネルギーエコシステムの構築

プロジェクト進捗：

2025 年 12 月、上能電気はインド Khavda（カヴダ）エネルギー基地に対し、576MW のエネルギー貯蔵用パワーコンディショナー（PCS）の納入を完了し、海外における「光＋蓄電」事業の展開に新たな象徴的な成果を加えました。

本エネルギー貯蔵施設は、ADANI グループが主体となって開発し、上能電気の集中型エネルギー貯蔵用 PCS を採用します。完成後の総規模は 1,126MW/3,530MWh に達し、インド最大規模のエネルギー貯蔵施設となるだけでなく、世界最大級の単体エネルギー貯蔵プロジェクトの一つに位置付けられます。稼働後は、ピーク調整、周波数調整、系統安定化支援を通じて、地域の電力供給安定性を著しく向上させ、Khavda エネルギー基地を世界有数の「再生可能エネルギー＋エネルギー貯蔵」複合拠点へと育てることに貢献します。

上能電気は、グローバル展開を中核戦略として掲げ、インド市場を海外配置の重要な支点と位置付けています。インド市場に進出して 8 年が経過し、同社はグローバルな技術資源と地域市場の特性を深く融合させ、生産、運用、サービスをカバーする全工程現地化体制の構築を通じて、信頼基盤を継続的に強化し、持続可能なエネルギーエコシステムの共創に取り組んでいます。

SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」への貢献



目標背景

世界ではインフラ拡張、産業振興、イノベーション推進において顕著な進展が見られる一方で、発展の不均衡は依然として顕著です。国連『2025 年持続可能な開発目標報告書』の調査によれば、多くの途上国が包摂的かつ持続可能な工業化に向けた道程において、なお体系的な障壁と構造的課題に直面しています。強靱なインフラへの投資強化、研究開発投資規模の拡大、技術・イノベーション能力へのアクセス拡大が求められ、産業システムの低炭素化および循環型への転換を効果的に推進する必要があります。

対応行動

国連 2030 年目標

目標 9.4 持続可能かつクリーンな産業

2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

目標 9.5 研究開発とイノベーション

2030 年までにイノベーションを促進させることや 100 万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとする全ての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。

中国の対応措置

安全で効率的、知能的かつグリーン、相互接続性の高いインフラの整備を加速します。産業構造の高度化と転換を継続的に推進し、工業化の包摂性と持続可能性を高めます。イノベーション駆動型発展戦略を徹底的に実施し、革新と持続可能な発展の能力を効果的に強化します。

当ファンドの経営面での対応状況

- 新エネルギー関連産業プロジェクトへの積極的な投資を通じ、資本支援によってグリーンインフラの高度化、産業システムの低炭素転換、クリーン技術の応用などの分野を推進しています。
- 産業発展とインフラ整備の推進に向け、新エネルギー関連産業プロジェクトへの投資を奨励しています。

投資支援先の対応進捗

天奈テクノロジー

- 研究開発体制の強化を継続し、最新技術・動向を注視しています。現在、鎮江および常州に研究開発拠点、江蘇省に外資系研究開発センターを設置し、協調的かつ効率的な研究開発ネットワークを段階的に構築することで、技術革新と産業化実装に対する体系的な支援を提供しています。

清溢光電

- 「1 世代を量産、1 世代を研究開発、1 世代を企画」という研究開発方針を堅持し、スマート製造の高度化を継続的に推進するとともに、設備および研究開発投資を拡大しています。同社は次世代表示パネルの中核製造分野において、数多くの重要な技術的ブレークスルーを達成し、現在、多種多様な高精度フォトマスク製品の量産体制を確立しています。

長源電力

- 湖北省内各地での太陽光発電プロジェクト建設を重点的に推進しています。「太陽光＋農業・漁業」といった複合開発モデルを技術融合とビジネスモデル革新を通じて成功裏に導入し、クリーンエネルギーの大規模発電と、地域産業のグリーンかつ協調的な発展を実現しました。
- 科学技術成果の実用化を推進するとともに、成果転換メカニズムの改革を継続的に深化させています。同社の 5 件の科学技術プロジェクト成果が、中国電力企業連合会により「国際的にも先導的水準」と評価されました。

岳陽興長

- 岳陽興長 子会社・惠州立拓が軽量材料、特化高付加価値製品、廃プラスチックの資源化利用技術の工業化応用を加速しています。グリーンプロピレン原料の開発を通じて、産業サプライチェーンの低炭素転換を推進しています。

英発テクノ

- 科学技術イノベーションを継続的に推進しています。2022-2025 年度の国家級ハイテク企業に認定され、N 型 210R 太陽電池セルの変換効率の継続的向上、レーザー誘導焼結技術の導入、非 SE プロセスの最適化など、数多くの技術的ブレークスルーを相次いで達成しています。



目標成果

当ファンドは、SDGs 目標 9（産業と技術革新の基盤をつくろう）に積極的に応え、投資配置、技術エンパワーメント、ビジネスモデル革新を通じて、持続可能な産業発展、インフラの高度化、ならびにイノベーション能力構築を体系的に推進しています。新エネルギー、新素材、ハイエンド設備製造などのグリーン産業への重点投資により、投資先企業が多様な複合開発モデルを実施することを支援し、グリーン産業エコシステムの構築と近代的インフラ体系の整備を後押ししています。

2025 年度 SDGs 目標 9 への対応実績

■ 天奈テクノロジー



研究開発投資額
10,859 万元

■ 清溢光電



研究開発投資額
6,419 万元

■ 上能電気



研究開発投資額
32,772 万元

■ 長源電力



研究開発投資額
9,961 万元

■ 岳陽興長



研究開発投資額
7,567 万元

■ 英発テクノ



研究開発投資額
37,000 万元

■ 雅城エナジー



研究開発投資額
2,539 万元

■ 武漢中儀



研究開発投資額
1,200 万元



事例 | 武漢中儀 青海久治トンネルにおけるパイプロボット検査試験を実施、従来型保守モデルのスマート化転換を推進

SDGs への貢献:

- トンネル従来型保守効率の向上、交通インフラのスマート化高度化の推進
- トンネルの潜在損傷の精密検出、公共安全の確保

プロジェクト進捗:

2025 年 10 月、武漢中儀のパイプ CCTV 検査ロボットは、青海省青南地区の久治 3 号トンネルにおいて、排水溝の精密検査試験を成功裏に完了しました。これは、革新的技術による従来型インフラ保守への革新と、トンネル安全防护ラインの強化において、同社が重要な成果を収めたことを示します。

このシステムは、クローラー、高精細カメラ、照明システム、遠隔操作機能を一体化したもので、トンネル排水溝内部のひび割れ、堆積物、腐食などの潜在的な損傷を鮮明に捉え、データ化・アーカイブ化しました。従来の手動検査方式と比較し、パイプスマートロボットによる検査効率は約 5 倍向上し、1 回の作業時間は 2 時間から 24 分に短縮されました。これにより、高原という特殊環境下での作業員のリスクと保守コストを大幅に低減し、青海省内の高速道路における潜在工事リスクの調査および日常的なモニタリングのためのスマート化新手法を開拓しました。



パイプ CCTV 検査ロボットによる青海久治トンネル実証試験



事例 | 天奈テクノロジー 北京大学と連携し単層カーボンナノチューブ先端応用・産業化共同研究所を設立

SDGs への貢献:

- 産業最先端への注力、科学技術イノベーション新モデルの模索
- 先端課題研究と人材育成の推進、科学技術成果の実用化促進

プロジェクト進捗:

2025 年 12 月、天奈テクノロジーは北京大学と協力し、「北京大学 - 天奈テクノロジー 単層カーボンナノチューブ先端応用・産業化共同研究所」（以下、「共同研究所」）を設立しました。共同研究所は、双方による共同指導・共同開発のモデルに基づき運営され、産業の最先端に焦点を当て、単層カーボンナノチューブの電子分野における応用を中心に体系的な協力を展開します。

本共同研究所の設立は、双方がそれぞれ有する科学技術革新と産業応用における強みを最大限に活用するものです。今後は、単層カーボンナノチューブの先端応用分野における研究開発の連携と成果の実用化、技術課題解決プロジェクトの具体化に共同で取り組み、業界の発展に新たな原動力を注入します。



「北京大学 - 天奈テクノロジー 単層カーボンナノチューブ先端応用・産業化共同研究所」設立式

事例 天奈テクノロジー イメリースと連携し次世代リチウム電池技術を支援

SDGs への貢献:

- 電池技術イノベーションの推進、世界的な持続可能なエネルギー転換への支援
- 製品イノベーションへの注力、長期的な性能と持続可能性の重視

プロジェクト進捗:

2025 年 7 月、天奈テクノロジーは、世界の導電性カーボンブラック業界をリードするイメリース・グループの完全子会社であるイメリース・グラファイト&カーボン（スイス）株式会社（IGC）と戦略的提携を結び、電池技術革新の共同加速に合意しました。両社は、カーボンナノチューブとカーボンブラックを複合した導電剤製品を共同開発し、次世代電気自動車用電池の性能を大幅に向上させます。これにより、電池業界が求める性能向上と総コスト削減という急速に変化するニーズに直接応えます。天奈テクノロジーと IGC は、高性能電気自動車用電池の開発プロセスを加速する先進的かつカスタマイズされた導電剤ソリューションの提供に取り組むという共通のビジョンを堅持し、長期的性能と持続可能な発展に焦点を当てます。



天奈テクノロジーはイメリース・グループと戦略的提携を結んだ

事例 清溢光電 「フラットパネルディスプレイ・半導体用フォトマスク」南海（広東省仏山）生産拠点が操業開始

SDGs への貢献:

- 地域産業エコシステム構築への貢献、半導体産業配置の加速
- 生産拠点を起点としたサプライチェーン活性化による地域高品質発展の推進

プロジェクト進捗:

2025 年 11 月、清溢光電南海（広東省仏山）生産拠点の操業開始式典が南海丹灶で開催されました。同拠点は先進的な技術と充実した生産能力を活かし、中国におけるフラットパネルディスプレイおよび半導体産業の国産化に重要な基盤を提供します。産業エコシステムの継続的改善、イノベーション支援の強化、サービス・保証の最適化を通じて、半導体産業の配置を加速し、国内フォトマスク産業の国産化代替プロセスに確固たる一歩を踏み出しています。



清溢光電「フラットパネルディスプレイ・半導体用フォトマスク」南海（広東省仏山）生産拠点 操業開始式典

SDGs 目標 11 「住み続けられるまちづくりを」への貢献



目標背景

気候変動の脅威が都市の脆弱性を増大させています。国連『2025 年持続可能な開発目標報告書』の調査によれば、都市人口の増加に伴い、気温上昇と洪水リスクが数十億人の生活に脅威をもたらしています。安全で強靱かつ持続可能な都市を構築するには、手頃な価格の住宅、気候変動適応型インフラ、包摂的なガバナンスの分野における協調的な投資が急務です。低炭素かつレジリエンス住宅の推進、都市のオープンスペースと緑地の再生、多層的なガバナンスメカニズムの整備などを通じて、都市の気候行動の優先的な実施が必要です。

対応行動

国連 2030 年目標

目標 11.6 都市の大気質と廃棄物管理

2030 年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

目標 11.a 都市計画政策

各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。

中国の対応措置

人を中心とした新たな都市化の発展方針を堅持し、住宅および都市・農村の建設分野において着実な成果を重ねています。住宅保障能力は継続的に強化され、公共サービスの水準も大きく向上しています。あわせて、都市環境の管理体制が改善され、都市における居住環境の最適化が引き続き進められています。

当ファンドの経営面での対応状況

- 環境保護に関する公益活動への参加を促進しています。これらの取り組みは、業務や日常生活の基盤となる周辺環境の維持と、快適で持続可能な生活環境の形成に寄与しています。
- 農村振興の分野を積極的に切り拓き、グリーン産業への投資、消費を通じた支援などにより、都市と農村の経済・社会・環境の調和のとれた、高品質な発展を促進します。

投資支援先の対応進捗

清溢光電

- 深圳市南山区による対口支援事業に深く参画し、河源地区の消費を通じた支援活動を積極的に支援します。河源市連平県上坪鎮布連村の独自ブランド「活力森」天然水などの特産品を購入することで、現地の産業発展と農村活性化を後押しし、地域の均衡ある発展と持続可能なコミュニティ構築を効果的に推進しています。

長源電力

- 松滋市人民政府と「国能長源松滋市新エネルギー事業投資開発協力協定」を締結し、松滋市域内における 150 万 kW の新エネルギー事業開発権を獲得します。都市のグリーン・低炭素化および太陽光発電産業への取り組みを一層深化させます。

岳陽興長

- 高効率 VOC（揮発性有機化合物）処理技術・システムの研究開発を積極的に推進します。ゼオライト焼成排ガス処理システム、ポリプロピレン排ガス処理プロジェクトシステムなどを開発し、塗料、建材などの産業および生活発生源からの揮発性有機化合物排出に対し、精密な制御を実施。汚染発生源でのオゾンおよび微小粒子状物質（PM2.5）の生成を抑制し、大気汚染を管理しています。

英発テクノ

- 紙製コーナーガード包装資材のリサイクル利用率の継続的向上に取り組んでいます。

武漢中儀

- 検査機器、修復機器、および修復資材の生産を通じて、都市インフラの維持管理および更新に対する技術的支援を提供しています。

目標成果

当ファンドは、SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」に積極的に呼应し、グリーン運営の実践を立脚点として、都市の空気質改善や廃棄物循環管理などの分野への投資と誘導を積極的に行っています。また、投資支援先による VOCs（揮発性有機化合物）処理や包装材のリサイクル利用といったプロジェクトを支援しています。さらに「農村振興」戦略と結びつけ、産業投資と消費支援を通じて都市と農村間の要素流動を促進し、都市が経済・社会・環境の調和した発展を遂げるサステナブルな新ステージへの移行を推進しています。

2025 年度 SDGs 目標 11 への対応実績

■ 武漢中儀



生産・検査機器

600 台



修復機器

25 台



修復資材

250 キロメートルを供給

■ 英発テクノ



紙製コーナーガードの回収数

171,700 個



回収率

39%



スクエアインゴット用梱包材を回収し、インゴット搬送用パレットの同期利用（リユース）を実施



事例

武漢中儀 パイプ計測ロボットがカザフスタンへの納入に成功、現地の管路網スマート化運用を支援

SDGs への貢献:

- 高度な検査技術の輸出、中央アジア地域のインフラスマート化転換と産業技術高度化の促進
- 技術協力により「一帯一路」国際協力の深化、持続可能な開発分野におけるグローバル・パートナーシップの推進

プロジェクト進捗:

2025 年 3 月、武漢中儀はカザフスタンの顧客に対し、X5-HT5 パイプ計測ロボットの納入を成功させ、同時に現地技術トレーニングを実施しました。トレーニング期間中、HT5 ロボットは現地の複雑な管路網環境において優れた走行性能とデータ収集・分析能力を発揮します。そのインテリジェントレポート生成システムは、直感的な 3D 可視化表示効果により顧客から高い評価を得て、国産の高度な管路検査技術が中央アジア地域の管路網運用保守分野において革新的な応用の突破口を実現したことを示しました。今回の協力は、武漢中儀が「一帯一路」構想を積極的に実践する重要な取組みであり、ハイテク技術の国際的な実用化・応用を効果的に推進し、地域のインフラ運用保守の強靱性向上に技術的支援を提供するものです。



X5-HT5 パイプ計測ロボット

SDGs 目標 12 「つくる責任つかう責任」への貢献



目標背景

持続的に増加する消費水準が、物質消費量と環境フットプリントを絶えず押し上げ、環境に対し継続的な圧力を加えています。国連『2025 年持続可能な開発目標報告書』は、責任ある消費と生産を実現するためには、技術革新、ガバナンスの最適化、意識向上など多面的な連携システムの構築による総合的な転換を推進することが重要であると指摘しています。廃棄物のライフサイクル管理と資源化処理技術を継続的に改善し、全工程・循環型の持続可能な発展パスを確立することが必要です。

対応行動

国連 2030 年目標

目標 12.5 廃棄物発生量の削減

2030 年までに、予防、排出削減、リサイクル、再利用を通じて、廃棄物の発生を大幅に削減する。

中国の対応措置

生態優先・グリーン発展の道を確認として歩み、産業構造、エネルギー構造、運輸構造の調整・最適化を推進し、グリーン消費を提唱します。グリーン、循環、低炭素の発展において着実な歩みを進め、持続可能な生産・生活様式が加速的に形成されています。

当ファンドの経営面での対応状況

- 廃棄物処理に対して常に極めて責任ある姿勢で臨み、管理体制の整備と廃棄物削減目標の策定を行うとともに、『生ごみ処理』に関する業界調査を実施し、廃棄物の回収と再利用を推進しています。



投資支援先の対応進捗

天奈テクノロジー

- カーボンナノチューブ製造工程で発生する排ガスの回収・焼却のため、膜分離装置および排ガス焼却炉を設置し、廃ガスの資源化利用と無害化処理を実現しています。

上能電気

- 国家工業・情報化省の「グリーンサプライチェーン管理企業」に選定されました。環境保護と資源節約の理念を生産プロセス全体に貫徹させ、サプライチェーン全工程における連携的向上を実現しています。

長源電力

- 子会社・青山会社が武漢市「廃棄物ゼロ工場」および国家エネルギーグループ「廃棄物ゼロ企業」の称号を獲得しました。

岳陽興長

- 循環利用戦略の体系的な実施を通じて、CGC-300 排煙オンライン監視システムと DCS システムの連携統合、排水可視化管理、HW06/HW08 類廃有機溶剤再生利用プロジェクトなどを着実に推進し、発生源での廃棄物発生量の低減を図っています。

英発テクノ

- グリーン生産理念を全面的に実践します。包装デザインの最適化、循環利用の普及を通じて、包装資材の資源化利用を実現し、廃棄物発生の効果的な削減に取り組んでいます。

目標成果

当ファンドは、SDGs 目標 12「つくる責任 つかう責任」に積極的に対応し、循環経済、廃棄物の資源化利用、グリーンサプライチェーン管理などの重点分野に投資しています。投資支援先が生産プロセスの最適化、廃棄物発生源での削減、クローズドループ型リサイクルシステムの構築などを実施することを支援し、資源節約型で環境に優しい産業エコシステムの構築に注力しています。

2025 年度 SDGs 目標 12 への対応実績

■ 長源電力



長源電力は漢川一期貯炭場、莊門 A 貯炭場の密閉改造プロジェクトを完了し、炭塵の飛散を抑え、大気汚染物質排出量を削減しました



事例 | 武漢中儀 TÜV ラインラントより非開削管路補修材料の製品認証を取得

SDGs への貢献:

- 全方位的な品質管理の実施、内張り用ライナーはドイツ TÜV ラインラントによる 10,000 時間の長期力学性能試験の合格
- 国際認証に基づく ISO 規格、DWA 規格および中国国家標準の厳格な遵守

プロジェクト進捗:

2025 年 12 月、TÜV ラインラントは第 12 回中国国際管網展覧会において、武漢中儀に対し非開削管路補修材料の製品認証証書を授与しました。これは、同社関連製品が国際および中国国内の厳格な基準に基づく総合的な試験・評価を通過し、品質、安全性および長期信頼性の面において第三者認証機関から権威ある評価を得たことを示すものです。

武漢中儀の ZY-86 光硬化型補修用ライナーは、内層フィルム、樹脂含浸ガラス繊維織物、防浸外層および耐紫外線外層から構成されており、各種形状の管路補修に適用可能です。DN150～2200mm、厚さ 3mm～20mm の範囲で仕様のカスタマイズが可能であり、優れた製品性能および品質管理体制により安全な施工を実現し、安全性・信頼性・持続可能性を備えた都市地下インフラの構築に寄与するものです。



Product Certificate

This is to certify that the following product has met the requirements detailed below

ZY-86 Cured-in-Place Pipe Liner

For the assessment of the ZY-86 Cured-In-Place Pipe (CIPP) liner as manufactured by Wuhan Easy-Sight Technology Co. Ltd. for the trenchless rehabilitation of gravity pipelines of various shapes, including circular, elliptical, egg-shaped, and rectangular.

Wuhan Easy-Sight Technology Co. Ltd.
No. 16 Xingyuanchang Street
Jiangxia District
Wuhan
China

This product meets the requirements set out in WRC Assessment Schedule PT/554/0925-AS.

Assessor	C.L.
Director	Sept 2025
Issue Date	9th September 2025
Expiry Date	8th September 2030
Certificate Number	PT/554/0925

wrc
approved™

非開削管路補修材料の製品認証

SDGs 目標 13 「気候変動に具体的な対策を」への貢献



目標背景

2025 年は、パリ協定署名から 10 周年、そして各国が第 3 回国別貢献（NDC 3.0）を提出する重要な節目にあたります。中国は今回の約束において、経済全体を対象とし、全ての温室効果ガス種を包含する絶対量削減目標を初めて掲げ、気候ガバナンスが体系化・全領域化された新段階に入ったことを示しています。

国連『2025 年持続可能な開発目標報告書』の調査によれば、2030 年までに技術的手段によって実現可能な世界の排出削減ポテンシャルは、二酸化炭素換算で 310 億トンに達します。世界の気温上昇を 1.5℃以内に抑える目標を達成するため、国際社会は気候適応能力、システムの強靱性、および深い排出削減への投資を加速し、科学に基づき、行動を指向して、日増しに緊急性を増す気候課題に共同で対処しなければなりません。

対応行動

国連 2030 年目標

目標 13.1 強靱性構築と適応能力

全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

目標 13.3 気候変動意識

気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

中国の対応措置

カーボンピークアウト、カーボンニュートラルを生態文明建設の全体計画および経済社会発展の全局に組み込みます。国連気候変動枠組条約第 29 回締約国会議（COP29）の期間中、『早期警戒による気候変動適応のための中国行動計画（2025-2027）』を正式に発表し、汚染削減と炭素削減の相乗効果による効率化を、経済社会発展の全面的なグリーン転換を促進する総合的取り組みと位置付け、気候変動対策を新たな進展へと導きます。

当ファンドの経営面での対応状況

- 多様な手法を用いて、気候変動が戦略および業務に及ぼす影響を深く評価し、それに基づき積極的かつ効果的な対応策を策定しました。
- 従業員研修、専門的セミナー、定期的な ESG 報告書作成・公表などを体系的に実施し、自社の能力構築を継続的に強化します。投資支援先の関係者の能力向上を重視し、組織全体の理解度と実践能力の向上を図ります。

投資支援先の対応進捗

天奈テクノロジー

- 気候変動に積極的に対応し、グリーン・低炭素および省エネ・排出削減プロジェクトを継続的に展開しています。

長源電力

- 排出規制対象企業として排出枠の 100% 達成・清算を完了し、グリーン電力およびグリーン証書の取引規模が大幅に拡大しました。同社の火力発電ユニットは全て 30 万 kW 以上のユニットであり、主要汚染物質排出指標はいずれも国家基準を上回り、エネルギー消費指標は地域の先進的水準にあります。
- 随州の会社において排出量管理システムに関する専門調査を実施するため専門チームを派遣します。制度の完備性、設備の定期検査、サンプリング・分析の標準化管理プロセス、統計台帳の規格化などの重要項目を中心に、現存問題の体系的な特定と整理を行い、随州の会社が包括的な是正措置を実施するよう指導しました。

岳陽興長

- 日常的な環境管理を重視し、気候ガバナンス担当者の専門能力を不断に向上させています。各子会社が専門会社など外部機関と環境分野での情報交流を行うことを奨励し、内部管理能力の向上とグリーン管理の実施を推進しています。

英発テクノ

- 傘下の複数の稼働拠点は、いずれも ISO14001 環境マネジメントシステム認証を獲得しています。



目標成果

当ファンドは、SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」に積極的に応え、「カーボンピークアウト・カーボンニュートラル」戦略にも積極的に対応しています。気候変動へのレジリエンス構築と低炭素転換を体系的に推進し、気候変動対策に関する戦略と具体策を投資審査の重要項目として組み込んでいます。また、デューデリジェンス管理を実施し、投資ポートフォリオの環境・気候への影響を緩和するとともに、気候変動に対する適応能力の向上に努めています。

2025 年度 SDGs 目標 13 への対応実績

■ 天奈テクノロジー



二酸化炭素排出量削減

2,438 トン

■ 上能電気



二酸化炭素排出量削減

276 トン

■ 長源電力



二酸化炭素排出量削減

3,727,340 トン

■ 英発テクノ



二酸化炭素排出量削減

94,100 トン

■ 雅城エナジー



二酸化炭素排出量削減

1,223 トン



事例

英発テクノ 子会社の英発徳耀と英発徳坤がフランスのカーボンフットプリント二重認証を取得、世界的なクリーンエネルギー転換を着実に推進

SDGs への貢献:

- 太陽光発電製品環境性能（グリーン属性）の向上、クリーンエネルギー発展の促進
- 都市エネルギー転換への低炭素産業チェーン支援、持続可能なエネルギーシステム構築の推進
- 製造プロセスにおける炭素排出削減の推進、気候変動への対応強化

プロジェクト進捗:

2025 年 11 月、英発徳耀と英発徳坤は、いずれもフランスエネルギー規制委員会（CRE）が発行するフランス PPE2 カーボンフットプリント認証を取得しました。このうち、徳耀工場は全ての太陽電池セル製品のカーボンフットプリント認証を実現し、2024 年と比較して温室効果ガス排出量をさらに削減しました。徳坤工場は、単結晶引き上げ（チョコラルスキー法）などの重要工程において累計 3 件の認証を取得し、シリコンウエハーから太陽電池セルに至る全工程の低炭素トレーサビリティを確立しました。2023 年に正式に施行された新基準である PPE2 は、より厳格な評価体系により業界の環境性能（グリーン）参入障壁を引き上げています。今回の二重認証の取得は、英発睿能の産業チェーン全体にわたる低炭素管理水準と技術的ブレークスルー能力を十分に示すものであり、同社の世界の太陽光発電グリーン製造分野における国際的評価と認知度を強力に高めるものです。



フランスカーボンフットプリント認証

2025 年度 投資支援先概要

投資支援先 1：江蘇天奈テクノロジー

会社概要

天奈テクノロジーは 2011 年に設立され、カーボンナノチューブ、グラフェンおよびその関連複合材料の研究開発、生産、応用開発および販売に従事します。ハイテク企業として、製品にはカーボンナノチューブ粉末、カーボンナノチューブ導電性ペースト、グラフェン複合導電性ペースト、カーボンナノチューブ導電性マスターバッチなどを含みます。商業応用分野は、リチウムイオン電池、導電性高分子複合材料、帯電防止塗料、タイヤ・ゴム補強などに及びます。同社はカーボンナノチューブに関連する多数の国際的・国内的な有効特許を保有し、カーボンナノチューブの大量生産に関する専門技術を有します。

天奈テクノロジーはエネルギー管理システムを不断に改善し、ISO14001 環境マネジメントシステム認証を取得しました。2017 年には「国家級グリーン工場」に認定され、2019 年には「グローバル・クリーンテック 100 選」の称号を獲得しました。同社は環境責任とグリーン転換を非常に重視し、省エネルギー・環境保護、グリーン発展に関する取り組みの成果を継続的に深化させています。



持続可能な開発への貢献

天奈テクノロジーが重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 2：深圳清溢光電

会社概要

清溢光電は 1997 年に設立され、フォトマスクの研究開発、設計、製造および販売を主に手掛けており、国内で最も早く設立され、大規模なフォトマスク製造企業の一つです。製品は主にフラットパネルディスプレイ、半導体チップ、タッチパネル、プリント基板などの業界に応用され、川下の民生用電子機器（テレビ、携帯電話、ノートパソコン、タブレット端末、ウェアラブルデバイス等）、車載電子機器、人工知能、ネットワーク通信、家電製品、LED 照明、産業用制御電子機器などの分野で幅広く使用されています。

清溢光電は、深圳市初の「国家ハイテク企業」であり、「深セン市フォトマスク技術研究開発センター」および「広東省フォトマスク工程技術研究開発センター」を擁し、中国国内のフォトマスク分野において、同国の産業技術水準を象徴する存在となっています。2025 年、「国家ハイテク企業」としての再認定に加え、世界ディスプレイ産業革新発展大会にて「卓越表現企業賞」を受賞しました。さらに、国家級の専精特新「小巨人」ハイテク企業の再審査にも通過しました。



持続可能な開発への貢献

清溢光電が重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 3：上能電気

会社概要

上能電気は、電力電子製品の研究開発、製造、販売に特化した国家ハイテク企業です。事業は、太陽光発電用インバーター、エネルギー貯蔵用パワーコンディショナー及びエネルギー貯蔵システム、デジタル電力、発電所開発など多岐にわたり、世界に先駆けた幅広い分野に対応した「太陽光発電＋蓄電」ソリューションの提供に尽力しています。

現在、同社は深圳、無錫、蘇州、成都の四箇所に主要な研究開発センターを設置し、江蘇省無錫市、寧夏回族自治区吳忠市、インド・パンガロール、江蘇省連雲港市、サウジアラビア・ジッダに五つの生産拠点を構えています。これまでに、国家初の「グリーン工場」、CNAS 認定実験室、国家単項チャンピオン製造製品、国家企業技術センター、国家知的財産権優位企業、国家スマート太陽光発電モデル・デモンストレーション企業、国家グリーンサプライチェーン管理企業など、数多くの荣誉ある認定や賞を受賞しています。

持続可能な開発への貢献

上能電気が重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 4：国家能源集團長源電力

会社概要

長源電力は、火力発電、水力発電、新エネルギー発電、および電力販売を主力事業としています。「エネルギー供給の安定的基盤としての役割を果たし、エネルギー転換の先導者となること」を企業使命とし、「グリーン発展、卓越を追求する」を企業価値としています。また、「実務性・革新性・規模の拡大・競争力の強化」を基本方針とし、持続可能な発展の実践に取り組んでいます。

また、ESG 目標管理体制を構築し、ESG に関する行動計画および個別管理制度を策定・公表しています。これらの取り組みが評価され、「湖北省で最も社会的責任を果たす上場企業」、「ESG 犇牛賞（ESG 新鋭企業）」、「ESG カーボンニュートラル 50 強」、「ESG 鯨牛賞（ESG ガバナンス先導賞）」、「国有企業 ESG パイオニア 100 指数」など、複数の権威あるリストに選出されています。2025 年、長源電力は、同花順が選出する「最も人気のある上場企業 TOP300 賞」を受賞し、同社の投資家向け広報活動が十分に評価されたことを示しました。

持続可能な開発への貢献

長源電力が重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」
- SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 5：岳陽興長石化

会社概要

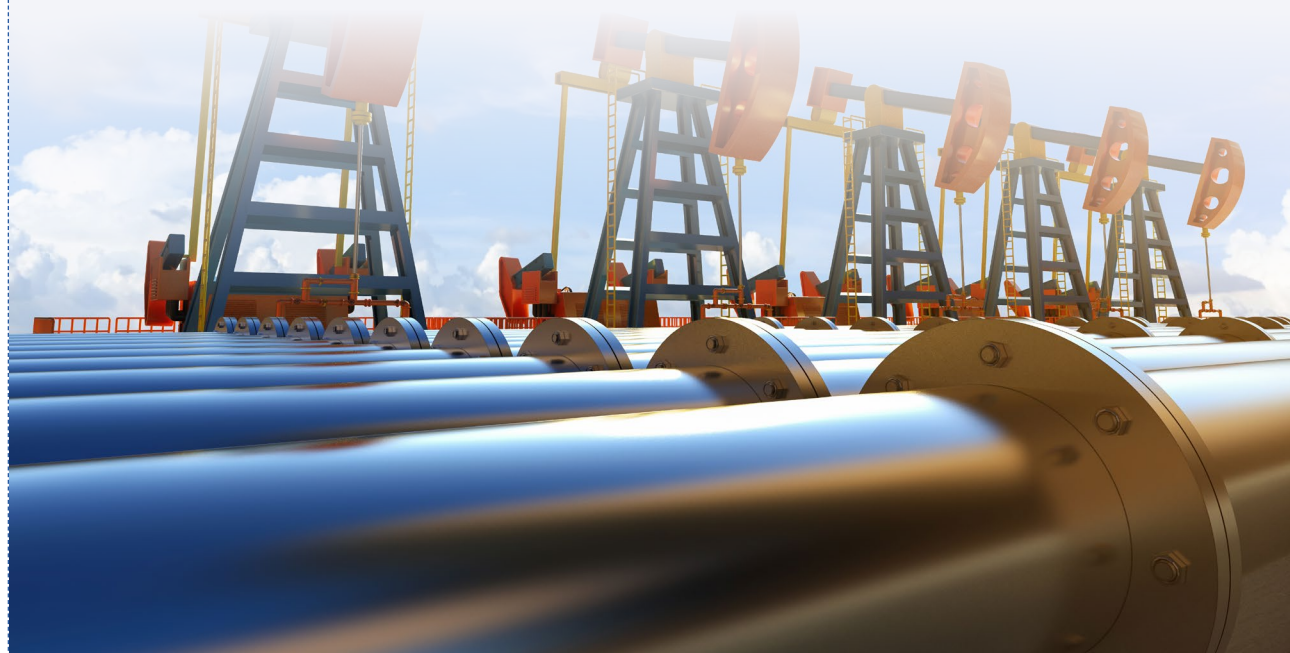
岳陽興長は、イノベーションを原動力とする石油化学企業です。化学系新素材、クリーンエネルギー、環境保護・省エネの 3 分野に注力し、石油化学産業の高度化において、製品およびサービスの提供者となることを目指しています。研究開発・製造・販売を一体化した総合型石油化学企業として、事業領域はエネルギー・化学工業、化学系新材料、石油製品小売の 3 分野にわたります。主要製品には、プロピレン、液化石油ガス（LPG）、MTBE、工業用イソオクタンなどがあり、これらは医療、食品、繊維、工業材料の製造、家庭用燃料など、幅広い分野で利用されています。

2025 年、岳陽興長は「2025 年中国エネルギー上場企業 ESG 評価トップ 200」に選出されるとともに、国内で唯一「2025 年ノーベル化学賞受賞材料」として知られる MOFs（金属有機骨格）材料の 100 トン規模での量産化を実現した企業となりました。これは、同社の先端材料分野における産業的影響力を十分に示すものです。

持続可能な開発への貢献

岳陽興長が重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」
- SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 6：四川英発テクノロジー

会社概要

英発テクノは、太陽電池セルの研究開発・生産・販売に注力し、電池分野において継続的にリードする優れた企業を目指しています。主力製品は、PERC 技術および TOPCon 技術をベースとした単結晶型の太陽電池セルであり、太陽光発電産業チェーンの中核を担う製品群です。

2025 年、同社は中国エネルギー新聞、中国エネルギー研究会が発表する「中国エネルギー企業 500 強」ランキングに選出されました。さらに、第 10 回光蓄電イノベーション大会「PVTOP50」&「ESTOP50」において、「2025 年度太陽光発電業界 最も革新的な電池企業」および「2025 年度太陽光発電業界 海外市場開拓新鋭企業」の 2 部門を受賞しました。また、フェニックス・テレビやロッキーマウンテン研究所などが発起した「2025 年度グリーン発展年次顕彰リスト」に選出され、「ESG 年度コミュニケーション影響力先駆賞」を受賞しました。さらに、「Titanium Energy Award・2025 年度太陽光発電ブランドランキング」では「太陽光発電電池トップ 10 ブランド」にランクインしました。2025 年第四回国際グリーンゼロカーボン祭・2025 ESG リーダーサミットでは「2025 ゼロカーボン特別貢献賞」を受賞しました。南方週末主催の第四回「ESG エコシステム共同構築テーマ活動」および第十七回「企業の社会的責任年次大会・成果発表会」では、ESG 分野における先見的な革新と卓越した実践が評価され、「年度新鋭責任企業賞」を受賞しました。2025 年新エネルギー産業革新協力・第十五回新エネルギー企業 500 強フォーラムにおいて、「2025 年世界新エネルギー企業 500 強」ランキングに選出されました。SMM 太陽光発電産業大会においては、「SMM『光芒杯』太陽電池イノベーション先駆賞」を授与されました。また、「技術駆動+リーマンニファクチャリング」という両輪発展戦略により、第十四回「北極星杯（Polaris Cup）」太陽光発電影響力ブランドに選出され、2025 年度「影響力のある太陽電池ブランド」および「影響力のある優れた太陽光発電イノベーション企業」の 2 部門で連続受賞を果たしました。

持続可能な開発への貢献

英発テクノが重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」
- SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 7：湖南雅城ニューエナジー

会社概要

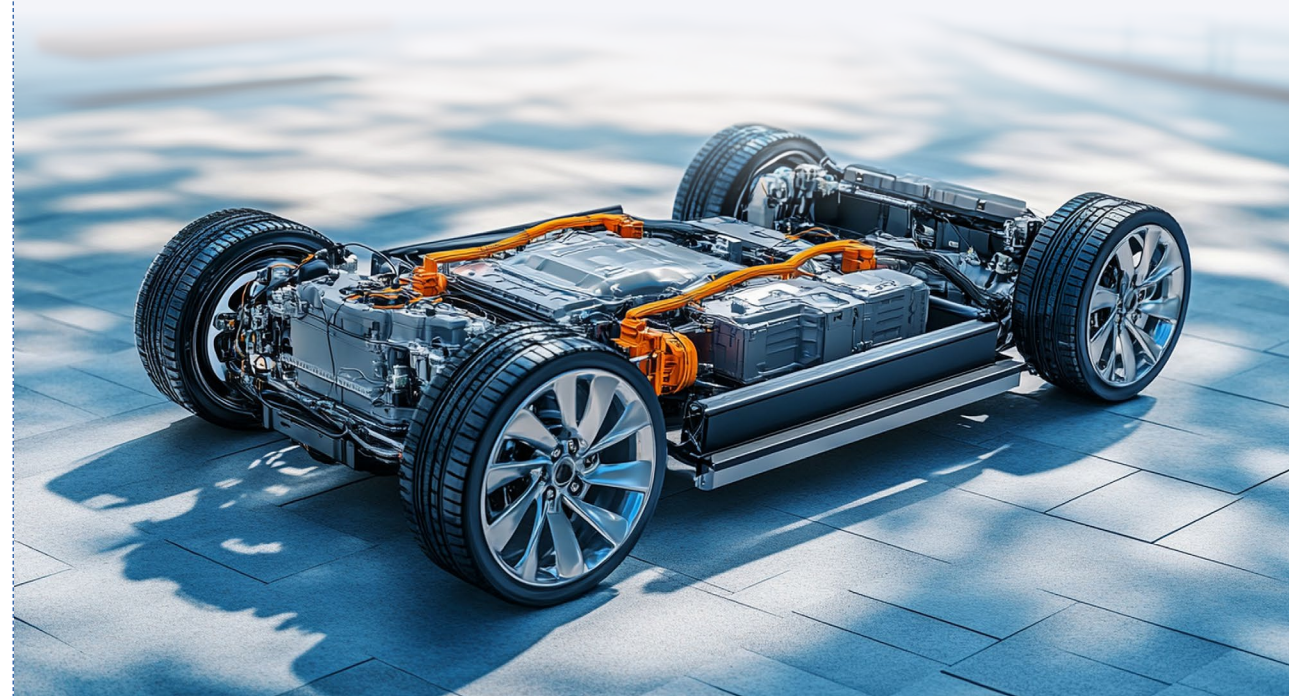
雅城エナジーは、産学研が一体となった国家ハイテク企業であり、国家専精特新「小さな巨人」企業にも認定されています。2007 年に設立され、主にリチウムイオン電池の正極材料前駆体の研究開発・製造・販売に従事しており、製品にはリン酸鉄、リン酸マンガン鉄、コバルト添加剤、四酸化三コバルトなどが含まれます。

現在、同社は湖南省と貴州省に 3 つのスマート生産拠点を構え、寧郷経済開発区には 2 つの生産拠点を有します。数十件にのぼる国家発明特許を保有し、湖南省企業技術センターの認定および国家ハイテク企業認定を受け、2024 年度寧郷経済開発区工業企業規模 50 強にも選出されました。雅城エナジーは、国内のリン酸鉄分野におけるリーディング企業として成長を続けており、世界トップクラスのリチウムイオン電池正極材料前駆体サプライヤーを目指しています。

持続可能な開発への貢献

雅城エナジーが重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 8：武漢中儀 IoT テクノロジー

会社概要

武漢中儀は、都市の給排水管網の検査・評価・保守・修復に関連する技術、設備および材料の研究開発・製造を専門とするハイテク企業です。

同社は、自社で知的財産権を有する一連の配管網向け検査・保守・修復製品および情報プラットフォームの研究開発を完了しており、これらは物理探査、都市建設、公共インフラ、国防、水利・水力発電など、幅広いインフラ整備分野において活用されています。

また、排水管網の情報化技術に関する研究を完了し、継続的な技術的ブレークスルーを達成しています。GIS（地理情報システム）を活用し、クラウドコンピューティングや IoT 技術と組み合わせることで、排水管網に関する空間的な基礎情報を効果的に統合し、特長ある、かつ再現可能な都市排水管網の地理情報システムを構築しています。

2025 年、武漢中儀は「全国工業情報化システム先進団体・労働模範・先進従業員表彰大会」において特に高い評価を受け、国家レベルの荣誉称号である「全国工業情報化システム先進団体」を授与されました。これは、国による戦略的配置に応え、高品質な発展と革新を実践する上での、同社の卓越した成果と責任感を力強く示すものです。

持続可能な開発への貢献

武漢中儀が重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



投資支援先 9：3R 環境テクノロジー

会社概要

3R 環境は 2003 年に設立され、産業有害廃棄物の資源化・総合利用を基盤とし、水処理剤、エッチング剤、医薬原料、新エネルギー材料、エネルギー貯蔵用レドックスフロー電池材料などの機能性化学品の積極的な開拓に取り組む、研究開発、生産、販売を一体化したハイテク企業です。長年にわたる鉄塩製品の生産・応用技術における強みを活かし、グリーン・省エネルギー産業への企業転換を積極的に推進しています。

3R 環境は主に、化学変換、物理分離などの手法により、廃酸（HW34）、表面处理廃棄物（HW17）などの産業有害廃棄物の処理処分および資源化・総合利用を行い、有害廃棄物中に再利用価値のある物質を、塩化第二鉄（塩化鉄 (III)）及びそのポリマー、塩化第一鉄、硫酸鉄及びそのポリマーなどの総合利用製品に変換しています。これら製品は、廃水処理、汚泥脱水、金属およびプリント基板（PCB）エッチング、製薬などの分野で幅広く活用されています。

持続可能な開発への貢献

3R 環境が重点を置いている SDGs の目標は以下の通りです

- SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」
- SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」
- SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」



略称一覧

全称	簡写
中節能（湖北）環境保護産業エクイティ投資ファンド	当ファンド
中節能翼和（湖北）私募基金管理有限公司	中節能翼和
中節能キャピタル・ホールディングス	中節能キャピタル
大和企業投資株式会社	大和企業投資
長江産業投資集団	長江産投
国家グリーン発展ファンド	NGDF
江蘇天奈テクノロジー	天奈テクノロジー
深圳清溢光電	清溢光電
上能電気	上能電気
国家能源集団長源電力	長源電力
岳陽興長石化	岳陽興長
四川英発睿能テクノロジー	英発テクノ
湖南雅城ニューエナジー	雅城エナジー
武漢中儀 IoT テクノロジー	武漢中儀
3R 環境テクノロジー	3R 環境

免責事項（本レポートについて）

本報告書に記載された内容は、参考情報として提供されるものであり、いかなる形式の勧誘、申込みの誘引、または約束を構成するものではありません。

当ファンドは、本書に含まれる情報の正確性、完全性、または信頼性について、いかなる保証も行うものではありません。また、当ファンドならびにその業務執行パートナーの取締役および従業員は、本報告書に記載された情報に含まれる誤りまたは欠落について、第三者に対する責任を含め、一切の責任を負いません。

別段の記載がない限り、本報告書に記載された意見、分析、提言等は、関係者の見解を反映したものであり、本報告書公表時点における見解に基づくものです。これらは当ファンドの公式見解または立場を示すものではありません。

当ファンド、中節能翼和（湖北）私募基金管理有限公司ならびにこれらの機関の構成員、株主、取締役、役員、パートナー、責任者および従業員は、本報告書の利用またはその内容への依拠に起因して生じる一切の損害（直接損害、間接損害および派生的損害を含みます。）について、いかなる責任も負いません。



中節能翼和

中節能（湖北）環境保護産業
エクイティ投資ファンド